

提案1

○サイエンスカフェに関する今後の対応について（平成24年11月30日日本学術会議第166回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
サイエンスカフェは、科学者が市民と少人数で直接コミュニケーションを行う草の根活動です。日本学術会議の科学と社会委員会科学力増進分科会が行ってきたサイエンスカフェの活動が大きなきっかけとなり、現在では全国で数多くのサイエンスカフェが開催されております。<u>科学・技術コミュニケーションを審議する科学力増進分科会</u>では、狭い意味のサイエンスではなく、日本学術会議の第一部から第三部が取り組んでいる、より広い意味での学術を対象としたサイエンスカフェの企画を行っております。 <u>これまでの活動を踏まえて、サイエンスカフェに関する対応については、当面、以下のとおりとするようお願いします。</u> 1. <u>サイエンスカフェにおいて、日本学術会議の会員、連携会員が一名以上、挨拶、司会、あるいは講師のいずれかを行う場合に、そのサイエンスカフェを学術会議の主催または共催とすることができます。</u>科学者と市民との対話の機会として、積極的に取り組むようにしてください。 2. <u>会員、連携会員がサイエンスカフェを主催または共催する場合</u>には「日本学術会議主催（または共催）」の名称を、また会員、連携会員がサイエンスカフェに講師として参加する場合には「日本学術会議会員（または連携会員）」の肩書きを、ポスター、プ	サイエンスカフェは、科学者が市民と少人数で直接コミュニケーションを行う草の根活動です。日本学術会議の科学と社会委員会科学力増進分科会が行ってきたサイエンスカフェの活動が大きなきっかけとなり、現在では全国で数多くのサイエンスカフェが開催されるようになってきました。<u>科学・技術コミュニケーションを審議する第22期の科学力増進分科会</u>では、狭い意味のサイエンスではなく、日本学術会議の第一部から第三部が取り組んでいる、より広い意味での学術を対象としたサイエンスカフェの企画を始めております。 <u>このような状況を踏まえて、サイエンスカフェに関する対応については、当面、以下のとおりとするようお願いします。</u> 1. <u>日本学術会議の会員、連携会員、部、委員会、分科会等は、サイエンスカフェを主催または共催したり、サイエンスカフェに講師として参加するなどにより、科学者と市民との対話に積極的に取り組むようにしてください。</u> 2. <u>会員、連携会員、部、委員会、分科会等がサイエンスカフェを主催または共催する場合</u>には「日本学術会議主催（または共催）」の名称を、また会員、連携会員がサイエンスカフェに講師

プログラム等において用いることにより、科学者コミュニティの代表機関としての日本学術会議の活動を、具体的に目に見える形で社会に示すように努めてください。

なお、サイエンスカフェは、専ら日本学術会議の見解を示すための場ではないことを徹底してください。

3. 運営内規第5条は、学術会議が講演会、シンポジウム等を開催する場合には、開催主体に応じて幹事会の決定または承認を得ることといった手続きを定めています。しかし、サイエンスカフェについては、小規模の会であること、科学者と市民との間の双方向のコミュニケーションの場であること、コーヒーを飲みながらといった気軽な雰囲気は無償（又は実費程度）で開催されるものであることを踏まえて、会員、連携会員は、事務局を通じて科学と社会委員会科学力増進分科会に事前に届け出（別紙1参照）を行うことによって、その手続きを省略して主催または共催することができます。ただし、幹事会での審議が必要と判断される場合にはこの限りではありません。

なお、講演会、シンポジウム等を開催しようとする際に、幹事会の決定または承認といった手続きを省略する意図でサイエンスカフェを名乗るなど上記方針を濫用することのないよう留意してください。

4. サイエンスカフェの実施後には、日本学術会議ホームページに掲載するための報告（別紙2参照）を提出するようにしてくだ

として参加する場合には「日本学術会議会員（または連携会員）」の肩書きを、ポスター、プログラム等において用いることにより、科学者コミュニティの代表機関としての日本学術会議の活動を、具体的に目に見える形で社会に示すように努めてください。

なお、サイエンスカフェは、専ら日本学術会議の見解を示すための場ではないことを徹底してください。

3. 運営内規第5条は、学術会議が講演会、シンポジウム等を開催する場合には、開催主体に応じて幹事会の決定または承認を得ることといった手続きを定めていますが、サイエンスカフェについては、小規模の会であること、科学者と市民との間の双方向のコミュニケーションの場であること、コーヒーを飲みながらといった気軽な雰囲気は無償（又は実費程度）で開催されるものであることを踏まえて、会員、連携会員、部、委員会、分科会等はこれらの手続きを経ることなく主催または共催して差し支えないこととします。

一方で、サイエンスカフェは日本学術会議として重要な活動であり、幹事会として実績を掌握することが必要ですので、事前に開催の旨を事務局に連絡するようにしてください。

なお、講演会、シンポジウム等を開催しようとする際に、幹事会の決定または承認といった手続きを省略する意図でサイエンスカフェを名乗るなど上記方針を濫用することのないよう留意してください。

<u>さい。</u> <u>なお、全国縦断サイエンスカフェを開催した場合には、ホームページ以外での掲載の可能性もあります。</u> 附 則 この決定は、<u>平成29年1月1日から</u>施行する。	附 則 この決定は、<u>決定の日から</u>施行する。
--	---

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日： 年 月 日
申請者（会員、連携会員）：

1. 日 時：
 2. 場 所：
 3. 関係団体：
(開催に関係する(費用負担含む)団体をすべて明記してください)
 4. 申請者の役割：
(挨拶、司会、講師、その他(具体的に記入)の中から該当するものを選んで下さい)
 5. 題目：
 6. 内容：
(出演される方全員の氏名・所属・役職を明記してください。もし参考資料等があれば、添付してください)
 7. 参加費：
 8. 参加予定人数：
 9. 連絡担当者：
(事務局から問い合わせをする可能性があるので、連絡できる方を明記してください)
氏名(所属・役職)
電話番号
メールアドレス
-

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

希望する

希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成〇〇年〇月〇日（〇） 〇時〇分～〇時〇分

2. 開催場所：○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3. 関係団体等：〇〇〇大学、〇〇〇学会

- #### 4. 役割

司会：〇〇〇〇（〇〇〇大学教授）

講師：〇〇〇〇（〇〇〇大学教授）

5. 概要：

[illegible]

O

[illegible]

O

[illegible]

O

※講演内容や質疑応答等について、簡単にご記入ください。

当日の配布資料等があれば、その添付のみでも構いません

6. 参加人数：

講演者等：〇〇名

その他の参加者：〇〇名

7. 特記事項：

[illegible]

○

※実施結果等について、特に記しておくべき事柄があればご記入ください。

日本学術会議会員候補者・連携会員候補者推薦書

1. 推薦者が記入する項目

… 必須入力項目です
… 任意入力項目です

あなた(推薦者)の氏名

候補者が所属するのに適切と考える分科別委員会
※ドロップダウンリストから選択してください。
委員会が適切である

候補者が取り組んでいる「学際的な分野・新たな領域」
※追加があれば記入してください。

候補者の推薦区分 ※[会員][連携会員] から選択してください。
に推薦する

例：環境学、地理学、科学技術社会(政策)論、技術経営(MOT)、生命倫理、科学哲学、科学者倫理(行動規範)、学術経営、学術と社会との関係(接点)を専門とする分野や新たな領域など

推薦理由 ※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいでは500文字です。(参考) 現在、約 0 文字です。

2. 候補者が記入する項目

… 必須入力項目です
… どれかひとつは入力してください

氏名： < 姓 > < 名 > 性別： ※[男][女]から選択してください。
ふりがな： ※全角ひらがな 生年月日： 就任時 歳 (自動計算)
半角で、西暦4桁/月/日 形式で入力してください。

戸籍名： 半角で、西暦4桁/月/日 形式で入力してください。
ふりがな： ※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。 <姓><名>のどちらかが異なる場合でも、<姓><名>の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職／非現職区分

である

勤務先名：

勤務先での職名：

< 自宅 >

郵便番号： ※ハイフン区切り半角数字

都道府県：

所在地(市区町村以下)：

建物等名：

電話番号： ※ハイフン区切り半角数字

FAX番号： ※ハイフン区切り半角数字

E-mail：

< 勤務先 > ※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。

郵便番号： ※ハイフン区切り半角数字

都道府県：

所在地(市区町村以下)：

建物等名：

電話番号： ※ハイフン区切り半角数字

内線番号：

FAX番号： ※ハイフン区切り半角数字

E-mail：

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先： に連絡する ※[自宅][勤務先]から選択してください。

< 主要な学歴および学位を3件以内で記入してください >

	年	月	学歴・学位の内容
学歴・学位 1 :			
学歴・学位 2 :			
学歴・学位 3 :			

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

< 主要な職歴を現職から順に遡って7件以内で記入してください >

	年	月	職歴の内容
職歴 1 :			
職歴 2 :			
職歴 3 :			
職歴 4 :			
職歴 5 :			
職歴 6 :			
職歴 7 :			

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

現職名・名簿記載職名 :

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

< 専門分野（「科学研究費助成事業（科研費）」の細目名の中から相当する細目番号）を3件以内で入力してください >
（細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	＜細目番号＞	＜細目名＞	
専門分野（科研費細目名） 1 :			※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野（科研費細目名） 2 :			※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。
専門分野（科研費細目名） 3 :			※ #N/A と表示された場合は＜細目番号＞が誤りです。

< 主要な研究内容を3件以内で記入してください >

研究内容 1 :	
研究内容 2 :	
研究内容 3 :	

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入してください >

国内所属学会名 1 :	
国内所属学会名 2 :	
国内所属学会名 3 :	

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入してください >

国際所属学会名 1 :	
国際所属学会名 2 :	
国際所属学会名 3 :	

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁（半角数字）

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1:			
受賞歴2:			
受賞歴3:			

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどがないか内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局選考担当まで送付してください。

注1) ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。 【例】 24senkou（日学太郎）

注2) 複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。 【例】 24senkou（日学太郎）1
24senkou（日学太郎）2

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 4 件）

（ 選考委員会 連携会員特別選考分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授	第一部会員
	第一部副部長、選考委員会委員	
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員
	選考委員会委員	
向井 千秋	東京理科大学特任副学長	第二部会員
	副会長、選考委員会副委員長	
西村 いくこ	京都大学大学院理学研究科教授	第二部会員
	選考委員会委員	
渡辺 美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事	第三部会員
	総合工学委員会委員長、選考委員会委員	

(選考委員会 人文・社会科学選考分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
井野瀬 久美恵	甲南大学文学部教授 副会長、選考委員会委員	第一部会員
杉田 敦	法政大学法学部教授 第一部部長、選考委員会幹事	第一部会員
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授 第一部副部長、選考委員会委員	第一部会員
小松 久男	東京外国語大学大学院総合国際学研究院・特任教授 第一部幹事、選考委員会委員	第一部会員
藤原 聖子	東京大学大学院人文社会系研究科准教授 第一部幹事	第一部会員
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科教授 選考委員会委員	第一部会員
梶 茂樹	京都産業大学共通教育推進機構客員教授 言語・文学委員会委員長	第一部会員
松浦 純	東京大学名誉教授 言語・文学委員会副委員長	第一部会員
戸田山 和久	名古屋大学大学院情報科学研究科教授 哲学委員会委員長	第一部会員
岡田 真美子	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員・兵庫県立大学名誉教授 哲学委員会副委員長	第一部会員
金子 元久	筑波大学大学研究センター教授 心理学・教育学委員会委員長	第一部会員
箱田 裕司	京都女子大学発達教育学部教授 心理学・教育学委員会副委員長	第一部会員
遠藤 薫	学習院大学法学部教授 社会学委員会委員長	第一部会員
岩崎 晋也	法政大学現代福祉学部教授 社会学委員会副委員長	第一部会員
久保 亨	信州大学人文学部教授 史学委員会委員長	第一部会員
久留島 典子	東京大学史料編纂所教授 史学委員会副委員長	第一部会員
宮崎 恒二	東京外国語大学特命事項担当室・教授 地域研究委員会委員長	第一部会員
山川 充夫	帝京大学経済学部地域経済学科長・教授 地域研究委員会副委員長	第一部会員
松本 恒雄	独立行政法人国民生活センター理事長 法学委員会委員長	第一部会員

後藤 弘子	千葉大学大学院専門法務研究科教授 法学委員会副委員長	第一部会員
河田 潤一	神戸学院大学法学部教授 政治学委員会委員長	第一部会員
羽場 久美子	青山学院大学大学院国際政治経済学研究科教授 政治学委員会副委員長	第一部会員
矢野 誠	京都大学経済研究所教授 経済学委員会委員長	第一部会員
川本 明人	広島修道大学商学部教授 経営学委員会委員長	第一部会員
徳賀 芳弘	京都大学経営管理研究部教授・京都大学大学院経済学研究科教授 経営学委員会副委員長	第一部会員

(選考委員会 生命科学選考分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
向井 千秋	東京理科大学特任副学長 副会長、選考委員会副委員長	第二部会員
長野 哲雄	東京大学名誉教授、東京大学創薬機構客員教授 第二部部長、選考委員会委員	第二部会員
大政 謙次	東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授 第二部副部長	第二部会員
石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究科教授 第二部幹事	第二部会員
佐藤 英明	独立行政法人家畜改良センター理事長、東北大学名誉教授 選考委員会委員	第二部会員
西村 いくこ	京都大学大学院理学研究科教授 選考委員会委員	第二部会員
山本 雅之	東北大学大学院医学系研究科教授 選考委員会委員	第二部会員
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科長・理学部長・教授 第二部幹事、基礎生物学委員会委員長	第二部会員
近藤 孝男	名古屋大学大学院理学研究科特任教授 基礎生物学委員会副委員長	第二部会員
巖佐 庸	九州大学大学院理学院教授 統合生物学委員会委員長	第二部会員
高木 利久	東京大学大学院理学系研究科教授 統合生物学委員会副委員長	第二部会員
川井 秀一	京都大学大学院総合生存学館（思修館）学館長・特定教授 農学委員会委員長	第二部会員
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授 農学委員会副委員長	第二部会員
清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授 食料科学委員会委員長	第二部会員
渡部 終五	北里大学海洋生命科学部特任教授 食料科学委員会副委員長	第二部会員
本間 さと	北海道大学脳科学研究教育センター招聘教授 基礎医学委員会委員長	第二部会員
須田 年生	熊本大学国際先端医学研究機構機構長・卓越教授 基礎医学委員会副委員長	第二部会員
桃井 眞里子	国際医療福祉大学副学長 臨床医学委員会委員長	第二部会員
戸山 芳昭	慶應義塾常任理事・慶應義塾大学医学部教授 臨床医学委員会副委員長	第二部会員

那須 民江	中部大学生命健康科学部教授、名古屋大学 名誉教授 健康・生活科学委員会委員長	第二部会員
小川 宣子	中部大学応用生物学部教授 健康・生活科学委員会副委員長	第二部会員
古谷野 潔	九州大学大学院歯学研究院教授 歯学委員会委員長	第二部会員
山口 朗	東京歯科大学口腔科学センター教授、東京医科歯 科大学名誉教授 歯学委員会副委員長	第二部会員
清木 元治	金沢大学医薬保健研究域・医学系招聘型リサーチ プロフェッサー（特任教授）、東京大学名誉教授 薬学委員会委員長	第二部会員
平井 みどり	神戸大学医学部附属病院教授・薬剤部長 薬学委員会副委員長	第二部会員
武内 和彦	東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連 携研究機構機構長・教授 環境学委員会委員長	第二部会員

(選考委員会 理学・工学選考分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授 副会長、選考委員会委員	第三部会員
相原 博昭	東京大学副学長、大学院理学系研究科教授 第三部部長、選考委員会幹事	第三部会員
土井 美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構監事 第三部副部長、選考委員会委員	第三部会員
大野 英男	東北大学電気通信研究所長・教授 第三部幹事	第三部会員
川合 眞紀	自然科学研究機構分子科学研究所所長、東京大学 大学院新領域創成科学研究科特任教授 第三部幹事	第三部会員
大西 隆	豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授 選考委員会委員長	第三部会員
氷見山 幸夫	北海道教育大学名誉教授 環境学委員会副委員長	第三部会員
坪井 俊	東京大学大学院数理科学研究科教授 数理科学委員会委員長	第三部会員
岡 眞	東京工業大学理学院教授 物理学委員会委員長	第三部会員
田島 節子	大阪大学大学院理学研究科教授 物理学委員会副委員長	第三部会員
大久保 修平	東京大学地震研究所教授・高エネルギー素粒子地 球物理学研究センター長 選考委員会委員、地球惑星科学委員会委員長	第三部会員
藤井 良一	大学共同利用法人情報・システム研究機構理事 地球惑星科学委員会副委員長	第三部会員
喜連川 優	情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、 東京大学生産技術研究所教授 情報学委員会委員長	第三部会員
徳田 英幸	慶應義塾大学環境情報学部教授、大学院政策・メ ディア研究科委員 情報学委員会副委員長	第三部会員
高原 淳	九州大学先端物質化学研究所長・主幹教授 化学委員会委員長	第三部会員
加藤 昌子	北海道大学大学院理学研究院化学部門教授 化学委員会副委員長	第三部会員
渡辺 美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事 選考委員会委員、総合工学委員会委員長	第三部会員
松本 洋一郎	国立研究開発法人理化学研究所理事 機械工学委員会委員長	第三部会員

新井 民夫	芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授 機械工学委員会副委員長	第三部会員
吉田 進	京都大学特任教授・名誉教授 電気電子工学委員会委員長	第三部会員
保立 和夫	東京大学理事・副学長、大学院工学系研究科教授 電気電子工学委員会副委員長	第三部会員
吉野 博	東北大学総長特命教授・東北大学名誉教授・秋田 県立大学客員教授・前橋工科大学客員教授 土木工学・建築学委員会委員長	第三部会員
小松 利光	九州大学名誉教授 土木工学・建築学委員会副委員長	第三部会員
吉田 豊信	東京大学名誉教授 材料工学委員会委員長	第三部会員
中嶋 英雄	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター所 長、大阪大学名誉教授 材料工学委員会副委員長	第三部会員

【委員会及び分科会】

○委員の決定（追加 3 件）

（情報学委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大倉 典子	芝浦工業大学工学部教授・学長補佐	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
松本 良	明治大学研究知財戦略機構特任教授	連携会員

（情報学委員会 情報科学技術教育分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
久野 靖	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	特任連携会員

※特任連携会員への任命については、提案 26 参照

・ 提案 5 は提言のため、資料 5 別添 2 参照。

日本学術会議協力学術研究団体への新規申込みがあった団体の概要

	団体名	概 要
1	新英米文学会	英語を媒体とする文学や文化を我々一人一人の生活や活動に密接に関わる対象として捉え、自主性とそれに基づく共感を基礎とする対話を尊重し、それらの研究及び紹介を行い、これを通じて世界の諸文化の民主的な創造と発展に寄与する。
2	情報ネットワーク法学会	情報のデジタル化とコンピュータのネットワーク化、そしてそれに伴う情報技術の発展は、社会のあらゆる分野に対して大きな影響を与え続けている。そこで、情報ネットワークをめぐる法的問題の調査及び研究を通じて、情報ネットワーク社会の健全な発展に貢献する。
3	日本マーケティング学会	マーケティング研究を志す層の拡充並びに相互交流を行い、また、理論を試す実践の場を意識して、産学融合の下、マーケティング理論と実践の研究・教育・普及を通して、日本のみならず世界の公益の増進に寄与する。

○代表派遣：平成 29 年 1－3 月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)
			計		
1	世界気候研究計画(WCRP)「気候と雪氷圏」科学推進委員会第13回会合	2月17日 ～ 2月18日	2 日	ウェリントン _____ ニュージーランド	榎本 浩之 特任連携会員 国立極地研究所副所長
2	宇宙空間研究委員会(COSPAR)第86回理事会	3月20日 ～ 3月22日	3 日	パリ _____ フランス	佐々木 晶 連携会員 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授
3	北極科学サミットウィーク・国際北極科学委員会(IASC)カウンスル会議	3月31日 ～ 4月7日	8 日	プラハ _____ チェコ	大畑 哲夫 特任連携会員 国立極地研究所特任教授

平成28年度代表派遣実施計画の変更、追加及び派遣者の決定について

以下のとおり、実施計画の変更、追加及び派遣者の決定を行う。

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	内容
			計			
1	アジア若手アカデミー会合	12月14日 ～ 12月16日	3 日	バンコク タイ	住井 英二郎 連携会員 東北大学大学院情報科学研究科教授	代表派遣の追加
2	G20に向けたサイエンス20会合 (S20)	1月25日 ～ 1月26日	2 日	ハレ ドイツ	岡部 信彦 連携会員 川崎市健康安全研究所所長	代表派遣の追加
3	G20に向けたサイエンス20会合 (S20)	1月25日 ～ 1月26日	2 日	ハレ ドイツ	大内 尉義 連携会員 虎の門病院院長、東京大学名誉教授	代表派遣の追加
4	Gサイエンス学術会議2017会合	3月23日 ～ 3月25日	3 日	ローマ イタリア	花木 啓祐 第3部会員 東京大学大学院工学系研究科教授	派遣人数の変更 (2人→4人)
5	Gサイエンス学術会議2017会合	3月23日 ～ 3月25日	3 日	ローマ イタリア	大窪 健之 特任連携会員 立命館大学理工学部教授	派遣人数の変更 (2人→4人)
6	Gサイエンス学術会議2017会合	3月23日 ～ 3月25日	3 日	ローマ イタリア	鳥羽 研二 連携会員 国立研究所開発法人国立長寿医療センター理事長	派遣人数の変更 (2人→4人)
7	Gサイエンス学術会議2017会合	3月23日 ～ 3月25日	3 日	ローマ イタリア	宮川 努 特任連携会員 学習院大学経済学部教授	派遣人数の変更 (2人→4人)

- ・ 提案 9～10 は国際案件（出張）のため資料 5 本紙
- ・ 提案 11～19 はシンポジウム案件のため資料 5 別添 3
- ・ 提案 20～21 は後援のため資料 5 本紙
- ・ 提案 22 は別添 4、をご参照ください。